

檜皮の採集

自然の恵みと厳しさと共に

18. Dec. 2020

cut 誕生寺山林 in 岡山県



檜皮葺に用いる檜の皮は、立木の幹木を傷めず採集でき、やがて十数年後には新しい表皮が採集できるようになるという。山の恵みと活かした技法。一方で生育状況や天候に左右されるという厳しい面もある。

贈り物店 専務 児島氏

山林は財産。持ち主との交渉と、採集のタイミングと見極めずのも原皮師の技能

Google Mapや航空写真などから檜林がおりそうな平野の目途をつけ、現地探検するという手法も突展している

檜皮は樹齢70年以上の充分な樹径のある檜の立ち木から剥き取られる。甘皮(樹木の形成層)、絹皮(甘皮と樹皮の間にある層)を傷つせず残すこと、樹木に影響なく木料を採集できる。

切り目を削き棒をゆわじけ剥き剥いていく

ある程度剥かれたら、手で引き張ってさらに剥いていく

樹皮を剥く棒
両手があく所に育中にしていく

のこぎりと斧

四足裂

及び縄
: 木のぼりや体を支えるためのひも+棒



ロープ一本で木に登る技



もと 原皮師

さらに上に登るには



腰を支えていた
ロープをほどき
①の結び方で
次の足場を
つくる



よいし



ロープをたぐり寄せ
下の結び目を
ほどく



ほどいたロープを引き上げ
再び②の結び方で体を支え
さらに上方の皮を剥いていく

これを繰り返して上方まで登っていく

降りるとき

腰の支えのロープをほどいて...



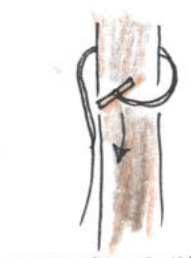
木にしがみつ
ずり下りていく



or

ロープをつたい
下りていく

降りた後



下から繩を動か
結び目をゆるめて
ほどく

採集作業



庖丁
剥いた皮は
一定の長さで
切る



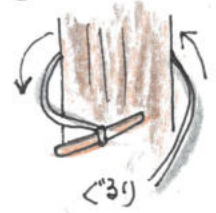
はい
元 末

切った下へ
落とす
一見無造作に
落としている
ように見えるが
元(根元側)と
末(樹上側)が
整うようにしている



結び方

①の結び方



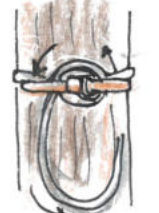
ぐるり



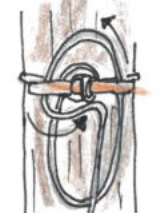
棒の右側をくり



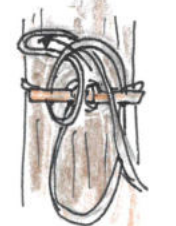
中心をくり



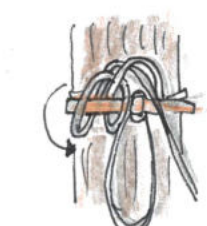
EやFを中心をくり



FやEの中心をくり
Pを中心をくり



上の輪に、下から
輪を入れくぐらせる



上を通した輪を
棒にくぐらせる



引、ゆると
締める



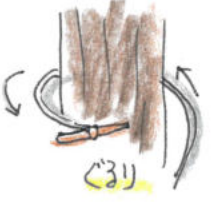
締めつけると
固く締まり、ゆるまない

but

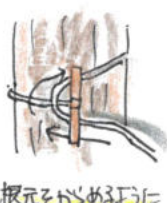


引、かかりとゆると
くりこぼす

②の結び方



ぐるり



根元をさかめるように
下からくぐらせ



輪がそつくり
上の輪の側をくり



輪と棒にかけ
ひけり締める



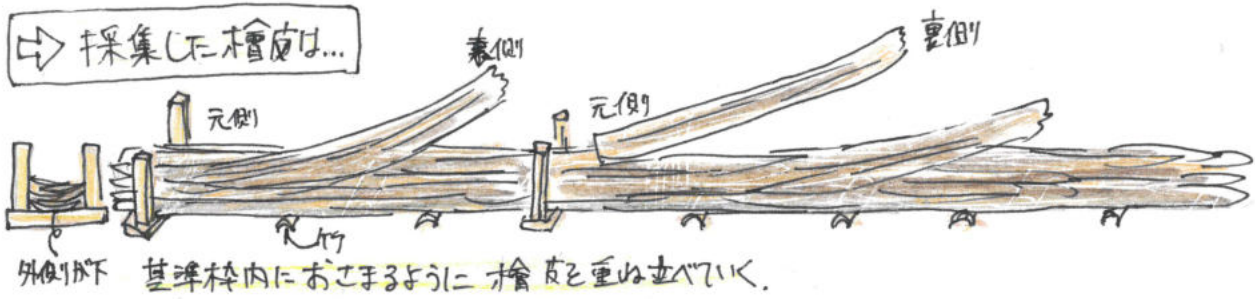
つ、はりと
しかり締まり
ズレない



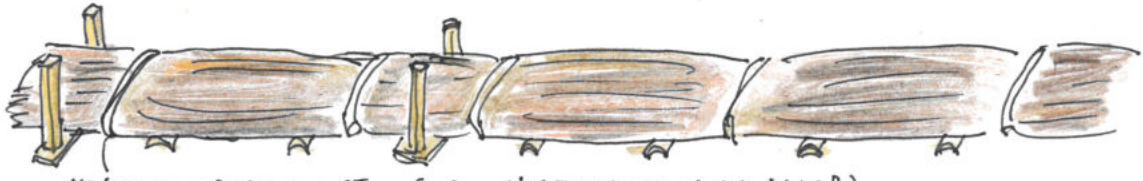
引、かかりとゆると
くりこぼす

ロープひとつで
高さ10メートルを
のぼる技... 匠の技です!

⇒ 採集した檜皮は...



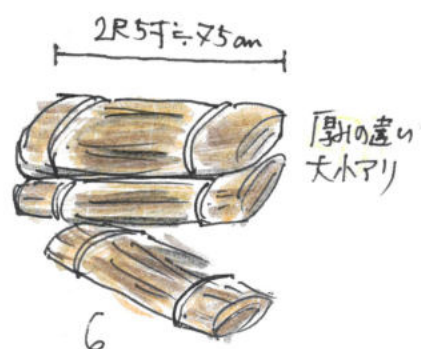
外側が下 基準枠内におさまるようにならば重ねていく。



梱包用テープでまつく縛る (ゆずりと崩れてはいけない; まちりキック!)



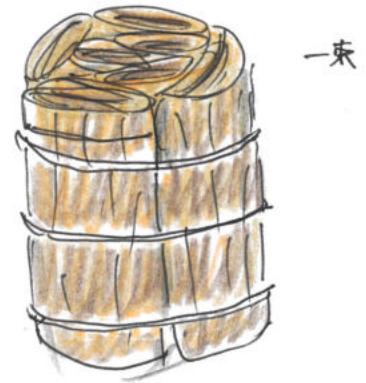
一定の長さで切っていく



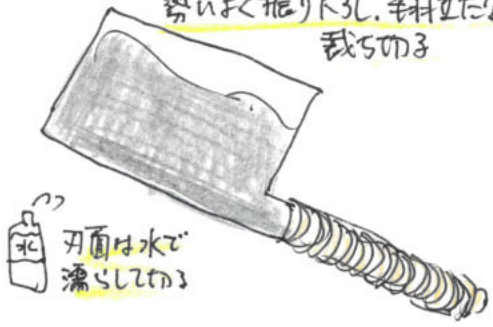
組み合わせて30kgとするとまとまりをつくる



俵状にするよう束ねておき、よく縛りこめる



道具類 大庖丁
檜皮の束を切り出す時に使う
勢よく振り下ろし、斜めに切る
裁ちのり



刃面は水で濡らしておく

結束用ロープ
梱包用PPロープ
かつはゆいさなめやカズラ
が用いられる



計量器
広く載せられる
+ 大きい値まで測れる
↓
お米計量用のものが便利!

